自由民主党

世田谷区議会議員

和田ひでとし 区政レポート 通信 第十五号



ごあいさつ

今年の夏も、相次ぐ台風の襲来に各地で大きな被害をもたらしました。幸い世田谷区では大きな被害はありませんでしたが、首都直下型地震も心配される中、地域防災計画をしっかりと見直し地区力の向上を図らなければなりません。これからも皆様とともに地元の課題をしっかりとらえながら、安心・安全なまちづくりとともに、「心ゆたかなまちづくり」を目指してまいります。

区では地域によって公共施設の老朽化が進み、特に玉川総合支所や奥沢・九品仏両まちづくりセンターはかねてより建て替えに向けて検討されてきました。区役所本庁舎は現在基本構想中ですが、その前にようやく具体的に動き出しました。



これまでの取り組みの経過と検証

「世田谷区役所の本庁舎建て替え」



これまでの事 <通信 第13・14号で取り上げ>

本庁舎建て替えは、決断できぬまま今年４月から７月まで基本構想検討委員会で議論され、その結果、半年遅れてようやく８月に基本構想素案が発表されました。

その後の経過

１１月に基本構想として発表され、第４回定例会（１１月末）・２９年第１回定例会（２月）での議論を経て基本設計に入り平成３２年着工、３８年竣工予定です。業務を続けながらの工事ということで、難易度の高い、期間もかかる工事となり、工費は約４１０億円が想定されています。

今後の課題

これ以上の先延ばしは許されません。**未来の世田谷**のため、**区民の生命と財産を守る**ために必要であるならば、変えるべきものは**勇気をもって変える**。これまで訴えてきたこの信念をもとに、今後の定例会でもしっかりと議論し決断をしなければなりません。

「玉川総合支所建て替え」



これまでの事 <通信 第7・13号で取り上げ>

４９年間、玉川地域の拠点としての機能をはたしてきましたが、老朽化はもちろんのこと**分散化**や**防災拠点**としての機能、**バリアフリー化**などの面からかねてより建て替え計画が進んできました。

その後の経過

等々力駅前の交通の便が大変良い施設ですが、この度ようやく仮庁舎を旧玉川高校跡や周辺の分庁舎等に仮移転して**着工の見通しが付きました。**計画当初よりやや遅れますが平成２９年秋に解体着工し、平成３２年５月に竣工予定です。総合支所・区民会館合わせての工事となります。

今後の課題

玉川地域は奥沢・九品仏・等々力・上野毛・深沢・用賀と６地区の大変広い地域です。
人口約２２万人の防災・まちづくりなど地域行政の拠点として、これからも地元区民の皆さんに**頼られる施設**にしていかなければなりません。

「奥沢まちづくりセンター建て替え」



これまでの事 <特別号で取り上げ>

世田谷区内で最も古く手狭なまちづくりセンターのひとつとして、奥沢・東玉川地区の地元の皆様からも建て替えを強く要望されてきました。

その後の経過

世田谷区議会では地域包括ケアの一体整備が先行して計画されていましたが「このように狭く古いところへ無理に整備すべきではない」と以前より訴えてきました。その取り組みが実り、すぐ近くで新たな用地を取得できたことで、**無理のない地域包括ケアの拠点整備**が実現します。また仮移転せずに新築した新施設へ移転することで**経費・工期の短縮**が図れます。そしてこの１０月より基本構想の説明が始まり、新たな奥沢地区の拠点施設として平成３１年竣工予定です。

今後の課題

移転した後の現在の敷地を、売却ではなく、長い間不足してきました奥沢・東玉川地区の**新たな施設用地**として考えていただくよう、特に**高齢者・保育・児童関連施設**が課題となっていますので、世田谷区に対し地元の皆様とともに強く要望してまいります。

健康長寿のススメ



奥沢地区の男性体操教室

これからの時代、いかに介護のお世話にならず健康に長生きできるかが重要です。私も将来を見据え、今から健康体操教室に参加しています。

今後の予定

- **和田ひでとし区政報告会**
  11月14日（月） 九品仏地区会館
  11月15日（火） 東玉川地区会館
  11月18日（金） 奥沢区民センター
  3会場とも19時～20時迄
- **世田谷区議会 第４回定例会**
  11月28日～12月7日
- **和田ひでとし後援会「新春のつどい」**
  平成29年2月11日
  二子玉川エクセルホテル東急 にて

インターネットで「和田ひでとし」と検索してください！

和田ひでとし 検索

あなたのご意見をお聞かせください！
info@wadahidetoshi.com

2016年10月 発行　世田谷区議会議員 和田秀壽　〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 1-40-2　TEL 03-3720-3542　FAX 03-3720-6928

「九品仏まちづくりセンターの建て替え」

これまでの事 <特別号で取り上げ>



奥沢４～８丁目、玉川田園調布１～２丁目の九品仏地区の拠点施設として既に築５２年が経過しています。
古く狭いことやバリアフリー化されていないことなどにより、高齢者や体が不自由な方にとっては**大変利用しにくい施設**となっており、地元の皆さんからも建て替え要望の声が多く、検討されてきました。

その後の経過

私も、議会で「公共施設整備のあり方」として何度か質問・要望をしてきましたが、このたび基本計画がまとまり、**３階建ての複合施設**として生まれ変わります。工事期間中の仮移転はすぐ近くの奥沢地区会館です。平成２９年秋に仮移転後着工、平成３１年春竣工予定です。

今後の課題

「まちづくりと防災の拠点」・「地域包括ケアの拠点」としての新たな複合施設は、駅に近く九品仏浄真寺の参道にあるという良い条件のため、地元の皆様のさまざまな**活動拠点**としてしっかり機能してゆくよう検証してまいります。

「南北間公共交通の強化（等々力↔梅ヶ丘バス路線実現）」



これまでの事 <通信 第１１号で取り上げ>

世田谷区は**南北間の公共交通が不便**であることが大きな課題のひとつです。特に玉川地域と区役所や小田急線沿線との連絡がこれまでも期待されていましたが、昨年の実験運行は思うような結果が得られず、バス会社との交渉が続いていました。

その後の経過

ようやくこの９月に東急バスより、平成２９年１月中旬より**本格運行することが決定した**との発表がありました。これで大井町線・田園都市線・世田谷線・小田急線が**一本のバス**で結ばれます。これは念願の道路「補助１５４線」が開通したことで実現しました。
道路は単に車を通すだけのものではなく、災害時には避難路や延焼遮断帯となるなど、区民の命を守る最重要の都市基盤なのです。

今後の課題

梅ヶ丘では世田谷区の保健福祉の拠点整備計画が進んでおり、これからは玉川地域からも梅ヶ丘方面への交通アクセスが大変重要となります。この新規バス路線が朝夕の通勤時間帯や日中の運行形態なども充実していただけるよう働きかけていきます。



梅ヶ丘駅近くの都立病院跡地。移転後の広大な敷地を活用して区の保健福祉の拠点づくりが始まります。

「地区防災対策の強化」

これまでの事

これまでも何度か取り上げてまいりましたが、それぞれの地区での防災対策強化は早急に取り組まなければなりません。**気候の変動**により、集中豪雨などによる浸水や土砂災害、首都直下型地震等に対する**備えを見直しておく必要**があります。

その後の経過

和田ひでとし通信で何度も取り上げましたが、特に８号で「地区力の向上と地区防災対策の強化」を特集しました。各地区で行われる防災訓練への参加者が**いつも同じ顔ぶれ**で、固定化されている現状があると聞きます。

今後の課題



私も地元の奥沢・東玉川地区区民防災会議の事務局メンバーとして活動していますが、これからの課題として、特に高齢者世帯への災害情報・避難情報の伝え方、避難所の運営体制、防災訓練への**新しい・幅広い世代の参加**をどうやって促していくかを、区と連携しながら考えていきます。また、区界地域の他区・他自治体との連携等をしっかりと議会でも取り上げながら、改善してまいります。

今年の視察

行政視察（企画総務常任委員会） ７月 19 日～ 20 日



● **前橋市「公有財産の有効活用について」**
市有施設の現状や課題を市民と共有し公共施設の長寿命化・効率的利活用の推進を視察しました。
● **金沢市「職員女性活躍推進プラン」**
女性職員のキャリア形成支援や職場環境整備に努めている市の取り組みを、区女性職員の一層の活躍に向けての参考として視察しました。
● **金沢市「ICT の推進について」**
利便性向上や地域の活性化に寄与するよう、市民・事業者のアイデア活用に力を入れていました。区では２０２０年東京オリンピック･パラリンピック開催に向けて、取り組みの参考にするため視察しました。

会派視察（自民党世田谷区議団） ８月 25 日～ 27 日

● **青森市「庁舎の耐震・長寿命化改修について」**
県庁の耐震性能の確保と長寿命化を目標とした改修工事、さらにバリアフリー化、環境性能の向上に向けた取り組みを視察しました。
● **函館市「地域交流まちづくりセンターの取り組みについて」**
指定管理者の運営による地域交流・地域情報発信の場としてのセンターの役割、団体等の利用・活動状況を視察しました。
● **札幌市「ハツキタくらしの安心プロジェクト事業」**
中小企業庁の「２０１６はばたく商店街３０選」に選ばれた、物販だけでなくサービスを提供する商店街への転換を図り「地域コミュニティの担い手」としての重要性に着目、多世代交流の場づくり・暮らしの安心づくり事業・地域の生きがいづくり事業を掲げた発寒北商店街を視察しました。